

# 【地理総合面接プリント（第5回）】

はじめに

レポートの答えは、ほとんどが教科書・資料集にあります。分からなければ簡単にあきらめないで、しっかり読み、調べる習慣を身につけましょう。

## ☆本時のねらい

- 地球的問題の背景と影響を理解し、解決策を考察する。
- 地球規模で取り組むべき課題の内容や特徴を確認し、解決や改善に向けた取り組みを考える。
- 地球規模で取り組むべき課題が、相互に関連しあっていることを理解する。
- 人口問題および居住・都市問題に関して、発展途上国と先進国とに分けて、問題が発生する背景や特徴を理解し、解決策を考察する。
- 先進国と発展途上国の対立など、さまざまな課題があることを理解し、持続可能な開発のための解決法を考える。

## 【1】「発展途上国の人団問題」について、次の問い合わせに答えなさい。

（教科書P136～137、資料集P116～123参照）

### ☆学習のポイント

- 18世紀後半以降から現在にかけての世界の人口推移とその背景を理解する。

- 発展途上国が抱える人口問題を理解し、その要因・影響を考える。

（1）（2）教科書P136～137からの出題です。P136～137の本文をよく読み、発展途上国の人団ピラミッドの変化の背景や、発展途上国において出生率が高い理由を復習しましょう。

## 【2】「先進国の人団問題」について、次の問い合わせに答えなさい。

（教科書P138～139、資料集P116～123参照）

### ☆学習のポイント

- 先進国において少子高齢化が進む背景とその影響について理解する。

- 少子高齢化対策として先進国で行われる取り組みを理解し、その成果や課題を考える。

（1）教科書P138～139からの出題です。人口ピラミッドの移り変わりを理解して、P140～141、P149をあわせて読み、1960年代以降の社会の変化と日本の人口移動の移り変わりの全体像を理解しましょう。

☆P136のSKILL UPやP138で、人口ピラミッドの読み取り方を復習しておきましょう。

## 【3】「食料需給をめぐる問題」について、次の問い合わせに答えなさい。

（教科書P142～143、資料集P158～159参照）

### ☆学習のポイント

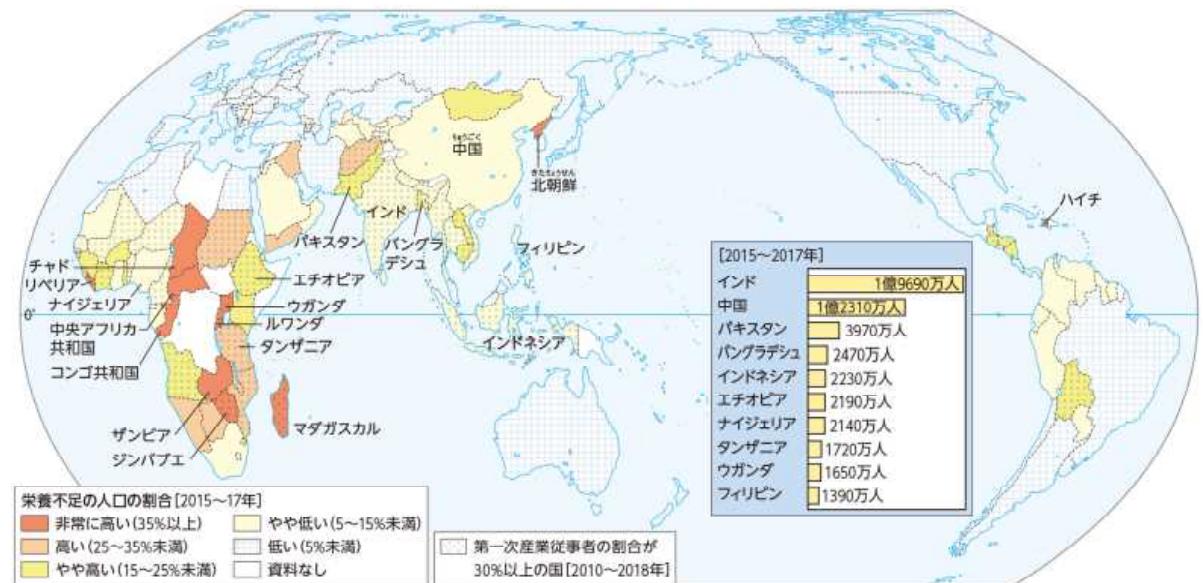
- 食料問題が生じる背景について理解する。

- 食の安全に関する問題について知り、その対策について理解する。

（1）教科書P142～143からの出題です。とうもろこしは主食となる作物ですが、家畜の飼料やバイオエタノールの原料として需要が高まり、価格高騰が懸念されています。P142をよく読んでおきましょう。

緑の革命についてはP143やP144、P220などに解説があります。読んでおきましょう。

- （2）教科書P143の図6の「各国・地域の栄養不足割合および第一次産業従事者の割合が高い国・地域と栄養不足の多い上位10か国」の図を見て、『栄養不足が多い国（グラフ）と栄養不足人口の割合が高い国（地図）とを比較して読み取れることをまとめよう。』



## 【4】「発展途上国の居住・都市問題」について、下の文の（ ）のなかに適語を記入しなさい。

（教科書P146～147、資料集P130参照）

### ☆学習のポイント

- 発展途上国の大都市の生活や都市環境の変化から居住問題について理解する。

教科書P146～147からの出題です。発展途上国で都市に人口が集中することで起こる問題も確認しておきましょう。

## 【5】「先進国居住・都市問題」について、次の問い合わせに答えなさい。

（P148～149、資料集P131参照）

### ☆学習のポイント

- 先進国の都市化と郊外化、そして都市再開発までの動きとそれぞれの背景について理解する。

（1）教科書P146～147からの出題です。インナーシティは都心中心部が、工場の移転、港湾施設・倉庫の老朽化などにより衰退が顕著となる問題です。スプロール現象とは都市機能の一部が無秩序に周辺に広がることで、このためニュータウンの建設が進められました。P146～149、P220で確認しましょう。

（2）P148の図や写真を見ておきましょう。先進国では郊外化が進んだことで都心周辺部のインナーシティ問題が深刻化し、都市再開発の必要が高まりました。

裏面に続く



【6】「民族問題・難民問題」について、下の文の（ ）のなかに適語を記入しなさい。

（教科書P150～151、資料集P150～153参照）

☆学習のポイント

○難民と民族問題について理解する。

○民族問題の背景について考える。

教科書P150～151からの出題です。ロヒンギヤは、かつてイギリスに統治されたミャンマー西部のバングラデシュとの国境付近に住むムスリムのこと。

【7】「地球的課題と国際協力」について、次の問いに答えなさい。

（P154～155、資料集P68、113参照）

☆学習のポイント

○地球規模で取り組むべき課題の内容や特徴を確認し、解決や改善に向けた取り組みを考える。

（1）地球的課題への世界の取り組みについて、P154・155で復習しましょう。  
ODAは政府開発援助の略称です。他の用語についても、P155で復習しましょう。

（2）【論述問題】教科書P155のチェックB「地球的課題の解決が容易ではないのはなぜか、本文から抜き出して『～のため』という文で答えなさい」に取り組もう。

（3）下の図を参考にして答えよう。

1971	ラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）
1972	国連人間環境会議で「人間環境宣言」が採択、これを実施する機関として「国連環境計画（UNEP）」設立
1973	ワシントン条約（絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約）
1987	オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書
1992	生物多様性条約（モントリオール）
1992	「アジェンダ21」が採択された国連環境開発会議（リオデジャネイロ、地球サミット）
1994	国連砂漠化対処条約
1997	地球温暖化防止に関する「京都議定書」
2002	持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスバーグ、第2回地球サミット）
2012	国連持続可能な開発会議（リオデジャネイロ、「リオ+20」）
2015	地球温暖化対策の新しい枠組み「パリ協定」